|  |
| --- |
|  |

**資料　１**

**博士学位論文の予備検討出願手続きについて**

工学研究科

１．出願資格

京都大学学位規程第２条（いわゆる課程博士）の規定により博士（工学）の学位を得ようとする者であって、次のいずれかに該当する者。

（１）本研究科博士後期課程に２年６か月以上在学し研究指導認定見込の者

（２）予備検討終了後の博士学位論文の申請日が、研究指導認定退学後３年を越えないことが確実な者

（３）修士課程を修了し、博士後期課程に１年以上在学した者又は見込みの者。ただし、在学年数が修士課程と併せて通算３年以上の者又は見込みの者。（在学期間短縮該当見込者）

２．出願書類

（１）博士学位論文の予備検討願（別紙様式）

（２）研究説明資料（３通）

現在までの研究の経過及び将来の展望、並びにより広い立場からの位置づけを書いたもの（Ａ４判白紙に4,000字以内）。特に関連分野の現状と問題点及び研究の意義とその主張点や独創性について触れられていることが望ましい。

（３）論文内容を示す資料（３通）

学位論文の草稿、又はこれに代わるもの。：

（４）希望する予備検討委員会委員は工学研究科の教員(教授､准教授､講師､助教)２名以内。

在学期間短縮該当見込者は、上記書類に加えて下記の書類を提出のこと。

（５）略歴

（６）論文リスト

３．提出先

所属する専攻を担当するクラスター教務掛

【注意事項】

・氏名が漢字圏の留学生の申請者の方へ

和文学位記の氏名表記を漢字氏名で希望される方は、予備検討願・本申請書類等の

申請書類はすべて、漢字氏名(英語氏名)と併記すること。

英語氏名のみで申請された場合、和文学位記でも氏名が英語表記で発行されます。

例：　京大　太郎（KYODAI TARO）

【Notes】For Ph.D. international candidates whose name are written in Kanji

If you wish to use your name in Kanji on your Japanese diploma, submit your

name in Kanji (English name) on all the application documents from the beginning

of the Preliminary screening to the Ph.D. defense. If you apply using only your

English name, your Japanese diplomawill be issued in English.

e.g. 京大　太郎（KYODAI TARO）

**資料　１（朱書箇所、ページ数は消去すること。）（※氏名がアルファベットの申請者は、**

**全ての提出書類で氏名の姓名の順・大文字・小文字等全て一致が必要なので注意すること。）**

令和　　年　　月　　日

専攻長殿

**博士学位論文の予備検討願**

　このたび、博士(工学）の学位論文を取りまとめたく、研究説明資料、論文内容を示す資料各３通を添えて提出いたしますからご検討くださるようお願いいたします。（在学期間短縮見込者は更に、略歴、論文リストを提出のこと。）

論文題目（外国語の場合はその和訳を（ ）を付して併記すること｡）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |

指導教員氏名

工学研究科　　　　　　　　　　　　専攻博士後期課程

令和　　年　　月　　進学・編入学

令和　　年　　月　　研究指導認定見込・退学

連絡先　　　　－　　　　－　　　　　（内線　　　　　番）

予備検討出願者

学生番号　１０６０―　　　　―

(ふりがな)

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　男・女

(外国人のふりがなはカタカナ)

・希望する予備検討委員会委員名

|  |  |
| --- | --- |
| 希望委員職氏名 | 所属専攻 |
|  |  |
|  |  |

工学研究科の教員２名以内を記載すること。

・研究公正に関する教育について（どちらか該当する方にチェック）

□ 大学院共通科目「研究倫理・研究公正」を受講し、単位を取得した。

□ 指導教員等より対面型チュートリアルを受けた。

・ＴＡ/ＲＡ/ＯＡ/ＲＦ/チューター等について（確認してチェック）

本学から給与等を受けている場合、学位が授与され学生の身分が無くなれば勤務できません。学位授与後の勤務予定があれば、辞職手続きをしてください。

□　学位授与後の勤務予定はない。